

ダイヤ乱れ時の利用者不満モデルに基づく運転整理案評価手法

山内香奈 平井力

列車運行に乱れが生じた際、列車ダイヤに一連の変更を加える「運転整理」業務では、多くの条件を考慮しながらの迅速な判断が求められる。近年、運転整理業務を支援するためのシ

ステムは整備されつつあるが、業務の根幹である運転整理案（変更ダイヤ）作成の支援については、必ずしも十分な機能が整備されているとは言えない。その主な理由として、「良い運転整理」を評価する手法が確立されていない点が考えられる。そこで本論文では、「利用者が感じる不満（利用者不満）」に着目した運転整理案評価手法を提案した。まず、利用者不満の背景要因として、利用者の急ぎ度、事前の期待に反した経験の程度、鉄道会社に責任を求める程度、の3つを仮定した「利用者不満モデル」を構築し、それに基づき「利用者不満推定式」を作成した。それを

列車運行・旅客行動シミュレータに組み込み、利用者の不満値を算出することで、運転整理評価に供するようにした手法である。

（鉄道総研報告，2011年12月号）

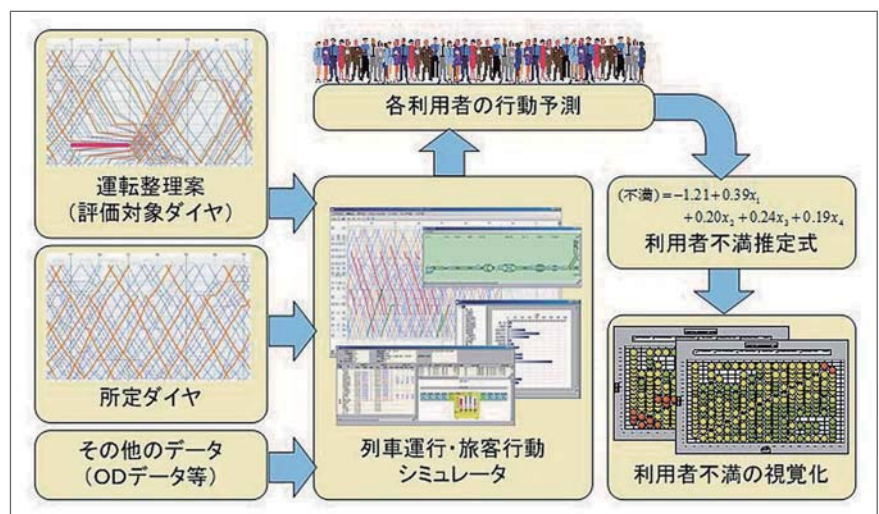


図 運転整理案評価値の算出フロー